

学習内容報告書 フォーマット

学校名	只見町立只見小学校
授業者	徳永 千聖

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海とともにある只見の食文化「郷土料理の材料について調べよう」

1-2. 学年

第4学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習

1-4. 単元の概要

第4学年の「総合的な学習の時間」では、海とのつながりを意識し、進んで調べたり体験したりしながら郷土料理に込められた願いや先人たちの知恵を知り、ふるさと只見のよさを感じ、伝統を受け継いでいく気持ちを育み、行動できることがねらいである。

只見の食文化は、八十里を越えてもたらされた日本海側の食文化や海の恵みによって、より豊かなものとなっている。

本単元では、只見の食文化と海とのつながりに気付き、郷土料理は受け継がなければきえてしまう料理であり、自分たちも受け継ぎたいという気持ちを育てるため、体験する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

只見町は内陸に位置しているが、八十里越や六十里越を通して海産物や塩、そして食文化が日本海方面から入ってきた。それらを学ぶことによって先人がどのように生きてきたのかを知り、自分が只見町でどのように生きていくのかについて考えることができる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

海とのつながりを意識し、進んで調べたり体験したりしながら、郷土料理に込められた願いや先人たちの知恵を知り、ふるさと只見町のよさを感じ、伝統を受け継いでいく気持ちを育み、行動できる子どもの育成

1-7. 単元の展開（全8時間）

時 数	学習活動・主な内容	○教師の指導 / 主な評価（アイウエ） ※外部連携 / ☆使用教材等
2	叶津番所を見学し、八十里を越えて運ばれてきた物にはどんなものがあったのか知る。	○ 叶津番所の見学を通して、当時の人々の暮らしや、八十里を越えて流通していた物品について知る。 イ 叶津番所の見学を通して、当時の人々の暮らしや、八十里を越えて流通していた物品を理解することができる。（観察・発言）
1	叶津番所を見学してわかったことや八十里を越えて運ばれてきたものについてまとめる。	○ 八十里を越えてきた物品を分類・整理することで食材に目を向けさせる。 ウ 叶津番所を見学しわかったことや気付いたことを整理することができる。 (ワークシート・発言)
1	前時のまとめの中から食材の部分を取り上げ、只見の郷土料理になくはない食材や調味料が八十里を越えてきたことに気付く。	○ 八十里を越えてきたものの中から郷土料理と関係のあるものを見つける。特に、鰯、砂糖、塩、昆布について取り上げる。 ○ 海の恵みを受け取ること、只見の郷土料理と海との関係についての意識を高める。 イ 八十里を通して、海の恵みを受け取ってきたこと、郷土料理と海との関係に意識を高めることができる。（ワークシート・発言） G T：本校職員
3	G Tとざく煮を作り、味わう。	○ ゲストティーチャーを招き、助言を受けながら児童自身の力で作らせるようにする。また、作った郷土料理は、全員が味見することで、郷土料理を体験できるようにする。 ウ 郷土料理を作り、その特徴について伝えることができる。（発言） G T：平野祥子さん 食生活改善推進員
1	学習してきたことをまとめる。	○ 郷土料理の作り方だけではなく、自分と郷土料理、自分と食材のかかわりで感じたことや考えたことを記入させたい。また、次は自分たちが受け継ぎ、只見町の郷土料理の伝統を守っていくという気持ちを高めさせたい。 エ 郷土料理と自分との関わり方を考えることができる。（ワークシート・発言）

<評価の観点>

ア よりよく問題を解決する。

イ 学び方やものの考え方

ウ 主体的、創造的、協同的にとりくむ態度

エ 自己の生き方

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ


単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

叶津番所の見学でわかった八十里を越えてきた物のまとめの中から食材の部分を取り上げ、只見の郷土料理になくてはならないものだったことに気付くことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	○教師の指導・支援 / <input type="text" value="評価の視点 (方法)"/>
<p>1 前時の活動を振り返る。</p> <p>2 本時のめあてをたてる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どうしてこの食材が只見に運ばれてきたのだろうか。</p> </div> <p>3 代表的な郷土料理、ざく煮、こぶ巻、さとう豆、にしん漬けの材料を確認する。</p> <p>4 ワークシートに自分の考えをまとめる。</p>  <p>5 考えを友達と交流し、全体で共有する。</p> <p>6 八十里を越えてきた食材や郷土料理についてゲストティーチャーに話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようにして運ばれてきたのか。 ・八十里を越えてきた食材と郷土料理のいいところを教えてもらう。 ・調味料の塩や砂糖は手に入りにくいが必要な物だった。 <p>7 本時を振り返り、感想を書く。</p>	<p>○ 叶津番所の見学、その後のまとめを振り返り、本時のめあてにつなげる。</p> <p>○ 八十里を越えてきたものの中から郷土料理と関係のあるものを見つける。</p> <p>○ 八十里を越えてきた物品を分類・整理することで食材に目を向けさせる。</p> <p>○ 特に、鰯、砂糖、塩、昆布について取り上げる。</p> <p>○ 多くの郷土料理に鰯、砂糖、塩、昆布が入っていることに気付かせる。</p> <p>○ もし鰯、砂糖、塩、昆布が入っていなかったらどうなるか考えさせる。</p> <p>○ 自分の考えを持ち、ワークシートに記入できるように、机間指導しながら個別に声かけをする。</p> <p>○ なぜ食材が八十里を越えてきたのか、自分の考えをワークシートにまとめ、友達に伝えあう活動をしたり、良い意見を紹介し合ったりしながら、自分の考えを発信し、考えを深められるようにする。</p> <p>○ 郷土料理や八十里を越えてきた食材について詳しい方をGTとして招き、昔、八十里を越えてきた海産物は郷土料理にとってなくてはならない食材だったということに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>八十里を通して、海の恵みを受け取ってきたこと、郷土料理と海との関係に意識を高めることができる。(ワークシート・発言)</p> </div> <p>○ 八十里を越えてきたものは手に入らない、入りにくいものだったということに気付かせる。</p>

3. 今回の活動の自己評価

- 叶津番所に行き、そこで、どんな食材が只見町に流通していたかについて話を聞くことで、郷土料理を作る際に欠かせない食材が運ばれていたことに気付くことができた。
- 只見町の郷土料理といっても只見の食材だけでなく、新潟や他の県から運ばれてきた食材でできていることに気付くことができた。
- GTを活用し、日本地図や模型で昔の食の流通を理解できた。今のように車がない時代に人力で八十里越えしてきた貴重な食材がたくさんあったことを知ることができた。
- 実際に郷土料理を作ることで、郷土料理を作るときの手間や工夫、食材のおいしさを知ることができた。



4. 今後の課題

- うまいもんレシピを用いて、レシピの材料には八十里越えしてきた食材がどのくらいあるのかマークしたりチェックしたりすることで、郷土料理がたくさんあることがわかった。
- ワークシートを記入した後の友達との伝えあいでは、味付けについてや醤油についての話が出ていたので、全体でもそこを取り上げ、広げられるともっと考えが深まったのではないかな。
- 全体で共有する場が発表する場になってしまった。一人の子どもが発表した後に、問い返しをすることで他の子どもたちも話に参加できたのではないかな。
- 子どもたちの感想を見ると、どうしてこの食材が運ばれてきたのかよりも、GTの話の影響からどのように運ばれてきたのかを書いている子どもたちが多くいた。導入でGTに入ってもらう方法や最後に板書をなぞりまとめにもっていくなどすると、海の恵みによって食が豊かになったという感想が出たのではないかな。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・GTとの事前の打ち合わせをしっかりと行う必要がある。

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。